

「保育の質の確保と向上」を目指して ～これからの保育を考える～

主 催：東京家政大学地域連携推進センター 後 援：狭山市保育幼稚園課・入間市保育幼稚園課

Part 2 「保育の質の向上を図る取り組み」

講座

1

10/15(土)

申込締切: 10/1(金)



保育の質の向上を図る園内研修のあり方
～公開保育を考える～

主任講師 小櫃 智子 (東京家政大学子ども支援学科教授)

講座

2

10/29(土)

申込締切: 10/15(金)



主体性保育とは
～子どもの興味や意思を大切にしたい保育とは～

講 師 岩立 京子 (東京家政大学子ども支援学科教授)

講座

3

11/12(土)

申込締切: 10/29(金)



保育におけるICT活用のあり方を考える

講 師 和田 明人 (東京家政大学子ども支援学科教授)

講座

4

11/26(土)

申込締切: 11/12(金)



ドキュメンテーションの活用法

講 師 野口 隆子 (東京家政大学子ども支援学科准教授)

- 会 場 東京家政大学狭山校舎 時 間 各回10:00~12:10 120分(休憩10分)
 受講料 各回《一般》3,000円 《学生》1,500円 ※申込受付後、振込用紙を郵送いたします。
 (別途、事務手数料として300円負担となります。)
 定 員 各回30名 対 象 保育士、幼稚園教諭、保育教諭等 持ち物 筆記用具、マスク(不織布推奨)

Tokyo Kasei塾 2022 受講申込書

※受講ご希望の方は、右のQRコードより応募フォームにアクセスいただくか、下記申込書にご希望の講座の番号を記入の上、メールまたはFAX・郵送にてお申込みください。お電話でのお申込みは受け付けておりません。
 ※メールにてお申込みの場合、メール受信後に当センターより確認の返信をいたします。返信がない場合は、お電話にてお問合せください。

応募フォーム



ふりがな				勤務先名	所属		
お名前	年齢			〈在学生〉	学部	学科	学年
ご住所	〒			希望講座名(番号)	(勤務先または自宅)		
				電話番号	(携帯)		



講座

1
10/15[±]小櫃 智子
おびつ ともこ保育の質の向上を図る園内研修のあり方
～公開保育を考える～

概要

園内研修は、保育の質の向上を図る重要な取り組みです。本講座では、園内研修の具体的な方法や取り組む上でのポイントを学びます。また、園内研修の中でも公開保育に焦点をあてて、そのあり方について受講生の皆様とともに考えていきたいと思います。

Profile

東京家政大学子ども学部子ども支援学科教授
東京家政大学大学院家政学研究科児童学専攻修了。練馬区子ども子育て会議副会長（H29～）、北区保育所園内研究研修講師（H27～）、板橋区保育所公開保育研修講師（R1）、他。専門は保育学・幼児教育学。

講座

2
10/29[±]岩立 京子
いわたて きょうこ主体性保育とは
～子どもの興味や意思を大切にしたい保育とは～

概要

保育とは、子どもが主体的に環境に関わり、遊び、学んでいくことを促す営みです。言葉で表現するのは簡単ですが、保育者は、知らず知らずのうちに保育者中心に子どもを動かす保育に陥りがちです。ここでは、子どもの主体の保育と集団生活へのつながりについて講義します。

Profile

筑波大学大学院心理学研究科博士課程修了（心理学博士）、東京学芸大学名誉教授、東京家政大学子ども支援学科教授。
東京学芸大学で34年間、東京家政大学で2年間、幼児教育・保育の専門家養成に従事する。平成26年から4年間、東京学芸大学附属幼稚園長を兼任する。著書に『子どものしつけがわかる本』『いい母はいい子をつくれぬ』等多数。NHKのEテレ「すくすく子育て」に出演し、子育てについて助言している。

講座

3
11/12[±]和田 明人
わだ あきひと

保育におけるICT活用のあり方を考える

概要

保育業務を合理的に効率化するためにICT活用が求められています。ただし、効率性や簡便化のみが優先されるICT活用は、むしろ保育の質の低下も危惧されます。したい・していいICT、したくない・しなくてもいいICTなど、効果的なICT活用のあり方を一緒に考えましょう。

Profile

初任から短期大学で14年間、前任の大学では17年間、これまで保育者養成教育に携わって参りました。今年の春からは東京家政大学の新任教員です。現在、高齢者介護施設を運営する社会福祉法人と、保育所を運営する社会福祉法人のそれぞれの理事長職を務めております。保育現場と保育者養成校の実働を協働にするための方略を模索中です。

講座

4
11/26[±]野口 隆子
のぐち たかこ

ドキュメンテーションの活用法

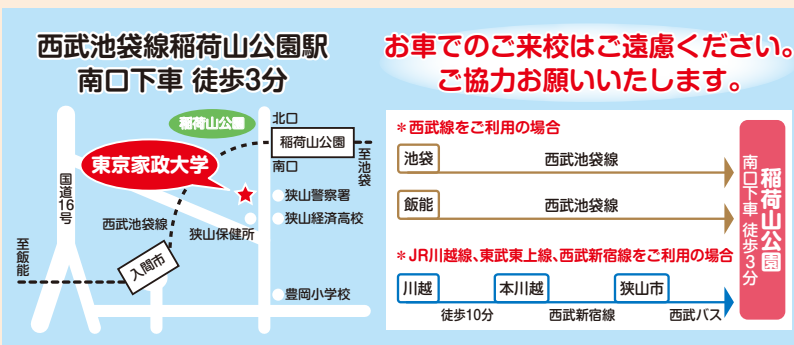
概要

保育におけるドキュメンテーション、記録には様々な理論や技法があります。さらに子ども理解を深め保育に活用していくためにはどのようなプロセスがあるのでしょうか。保育を振り返りながら考えていきましょう。

Profile

東京家政大学子ども学部子ども支援学科准教授
お茶の水女子大学大学院を経て白梅学園大学子ども学研究科博士課程修了。博士（子ども学）。専門は保育学、発達心理学。狭山市総合計画審議会委員（R1～）。著書には、「絵本の魅力 その編集・実践・研究」（共著、フレーベル館）等

交通のご案内



受講について

- ★申込受付後、振込用紙を郵送いたしますので、期日までにコンビニエンスストアでご入金をお願いいたします。
- ※銀行・郵便局でのご入金はできませんのでご注意ください。
- ★当日キャンセルの場合は、受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。その他キャンセルによる返金等につきましては、ホームページをご覧ください。
- ★講師の都合によりやむを得ず休講にする場合は、後日補講を実施いたします。また、交通機関の運休・悪天候の場合は休講となることもあります。詳細はお問い合わせください。
- ★個人情報、公開講座以外の目的には使用いたしません。
- ★その他、注意事項など詳細はホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症予防対策実施

感染状況の動向により、日程・内容を変更する
場合もありますのでご了承ください。